

〔雑 報〕

○幹事会

日時 昭和52年9月2日(金)午後3時より

場所 東京女子医科大学中央校舎学生会室

議題 東女医大誌10・11号編集 20編

○第43回総会

日時 昭和52年9月24日(土)午前8時～午後5時

会場 東京女子医科大学本部講堂

演題 一般演題40, 特別講演1, シンポジウム1

総会号は第48巻2号(昭和53年2月)として詳報する。

編集後記

第二病院小児科開局10周年の13篇の記念論文を含めて、20篇の盛沢山な内容を盛り込んで、10・11月合併号を編集し終え、主幹の佐藤先生はじめ編集子一同嬉しい悲鳴をあげました。東京女子医大の発展と共に本誌も限りなく発展し続けることを信じます。しかし、出せば出すほど赤字の増えるのは学問の発展のためとは申せ、何とかならぬものでしょうか。

うんざりする程の長雨。有珠山の爆発、愛知医大にはじまる入学を条件とした巨額の寄付金など、暗いニュースが新聞紙上を埋めた今夏、巨人軍の王選手はホームランの世界新記録を樹立、野球ファンならずとも胸のすく快挙である。聞くところによれば、文字通り血の滲むような日々の練習、研鑽の賜ものである由。生涯の勉強に耐え抜くことのできる心身ともに、健全な医学徒の入学できるよう、私立医大への国の大きな理解と援助を望むものである。

昭和52. 9. 12 (R.U 記)

訂正および追加

東京女子医科大学雑誌 第47巻 第4号 頁456～468 “エンドトキシンショック時の代謝および循環動態に及ぼす Dibutyryl cyclic AMP の効果” を下記の通り訂正ならびに追加します。

- ① 実験Bで使用した db-cAMP は、第一製薬提供に訂正。
- ② 実験Bは共同研究者 聖マリアンナ医科大学第3外科 宮川富三雄が、昭和51年6月12日 DC-2797研究会にて発表した。
- ③ 聖マリアンナ医科大学第3外科 野口輝彦教授の御助言に心より御礼申し上げます。

東京女子医科大学外科

萩原英夫